

Nishitokyo CRAFT BASE

Craft × shop × cafe
ものづくりのワクワク感をみんなでシェアする
コミュニケーションスペース



あなたが好きなこと、得意なことはなんですか？

FEATURE REPORT
[Co-lab]+α Revisit Portland

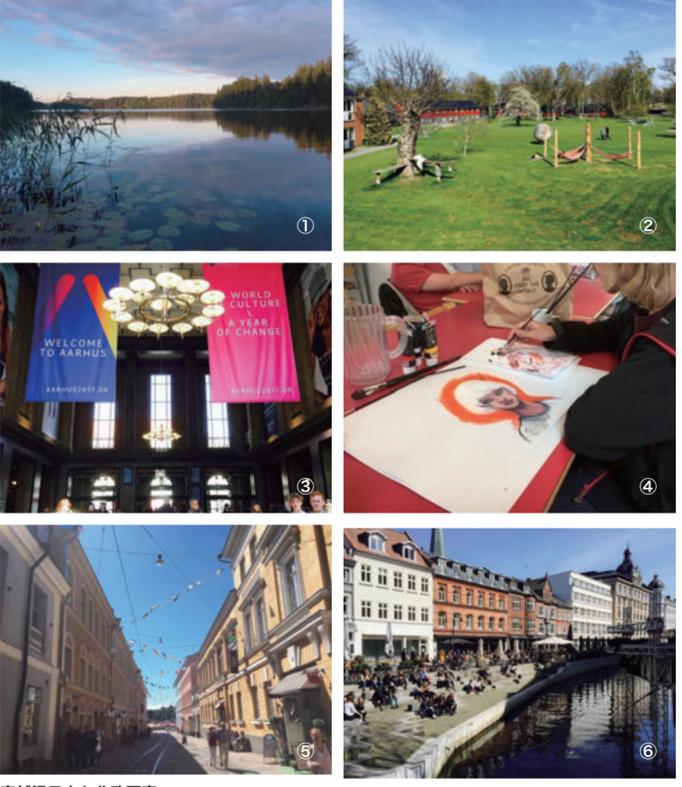
あなたの個性は誰かにとつてはかけがえのない価値なのかもしれないかもしれません。

「好きな事はあるけど誰かに教えられるレベルじゃない。」「得意なことはあるけど、その道のプロじゃない。」「そう思うってフタをいているあなたの個性は誰かにとつてはかけがえのない価値なのかもしれないかもしれません。」「Co-lab」(ラボ)はそんなあなたの眠っている才能を掘り起こし、カタチにするために「CRAFT BASE」を主な拠点として生まれた活動です。今回のインタビューは、「Co-lab」の発起人である「高越温子さん」と、昨年夏に「CRAFT BASE」ではじめてワークショップを開催した「柿沼あつこさんのお二人」です。

お二人の共通点は「北欧」というキーワードです。高越温子さんは計4回も北欧を訪れています。柿沼あつこさんは北欧スタイルのフラワーアレンジメントを手がけています。本号は、北欧の暮らしや文化に触れたお二人に、インタビューしました。紙面の関係で、短めのインタビューですが詳しくはウェブでも公開していますので、興味のある方はお読みください。小菅 亜実

あなたが好きなこと、得意なことはなんですか？

[Co-lab]+α



高越温子さん北欧写真
①フィンランドのホームステイ先の家から歩いて10分の湖。②「Co-lab」がうまれるヒントにもなった、デンマークの成人教育機関「エグモントホイスコーレンの広場」。デンマークには、18歳以上であれば誰でも通うことができる学校が約100校ある。③デンマークのオーフス空港。オーフスは、コペンハーゲンほど観光客は多くなく、新旧の建物が混在する、北欧らしい街。④デンマークの学校。朝9時〜16時までの間は、自分の学びたい授業を自由に取得できる仕組みになっている。理由は、「自分の好きな事・得意な事をさらに伸ばすため」の学校だから。⑤フィンランドの街並み。青空と建物が見事にマッチ。⑥デンマークの街並み。フィンランドとどこか似ている。

日本人の中にある 感覚的なものを 作っていききたい。 柿沼あつこさんインタビュー

小菅 北欧スタイルのフラワーアレンジメントを始めたきっかけは何ですか？
柿沼 北欧のフラワーアレンジメントの先生から声をかけて頂いたのがきっかけです。そこから、イベントに誘われて、先生が開く教室の第一期生になり、北欧の話やパーティーに参加し、気付いたら、北欧に興味を持つようになっていました。先生から聞いた話で興味深かったのは、日本と北欧のフラワーアレンジメントの違いです。日本のフラワーアレンジメントは、赤やピンクなど、はっきりした色を使いますが、北欧は、グリーン、ブルー、白、茶などをナチュラルなカラーを上手に使って、可愛らしく作ります。北欧の人は、自然の木や植物を選んで家に持ち帰り、インテリアとして飾るのが普通なんです。北欧のフラワーアレンジメントの根本って、暮らしの中に取り入れる1つの方法として、受け継がれている気がするんですよね。周りの環境が影響しているんじゃないかなって。私の家でも花を飾っていますが、北欧のフラワーアレンジメントのように、ナチュラルなカラーが多いんですよ。私の場合は、荒川の土手が近くにあって、それが影響されているんじゃないかなって。小菅 今後やってみたいことや、北欧のフラワーアレンジメントを広めていきたいですか？
柿沼 2時間くらいで、アレンジ出来るワークショップをやりたいです。それと、日本人は職人気質の方が多いので、「コツコツやってもいいものも良いかも」かもしれません。最近では、木枠の上にドライフラワーを敷き詰めて置くインテリアも作っているの、自分で考えたものを、みなさんに提案してみてもいいかなって思っています。小菅 貴重なお話ありがとうございます。ウェブ版もご覧ください。

小菅 貴重なお話ありがとうございます。ウェブ版もご覧ください。



森の中をイメージさせる木や葉とドライフラワーを使った北欧アレンジメント



フィンランドモスを使用した北欧のクリスマスアレンジメント



昨年夏に初開催したスモークツリーリースのワークショップ



柿沼あつこさん
幼稚園教諭を退職後、お花に携わるスクールに入学。品川ホテルの花屋〜神楽坂花屋を経て現在ひばりヶ丘の花屋に勤務中。

Instagram: @potekaki



イベントに参加していただいた方々の国籍は、フィンランド人、中国人、日本人と様々



イベント後は皆で仲良くお話しタイム。それぞれが作ったキャンドルを持って記念撮影



高越温子さん
東京・富山を拠点としてイベントの企画・主催から新しいプロジェクトのコンセプトメイキングなど多岐に活動。「埋もれた原石の発掘」をテーマにnoteも書いている。

Email: atsuko.tkks@gmail.com





ローカルメイドのキャンドル ウィスキーグラスを使うコンセプトも面白い



道路の駐車スペース(パークロット)を活用したレストランのオープンテラス



ポートランドを代表するロースターのコーヒー豆 スタンプタウンコーヒー(左) コアヴァコーヒー(右)



スマホアプリで借りられる電動レンタルスクーター「BRIDバード」。テック企業が多いポートランドならではの。



リサイクル住宅資材を集めた「リビルディングセンター」。世界最大と言われるDIYセンター。



地元のオーガニック野菜やフルーツを使用するヘルシーなカフェ。テイクアウトカップ等は全部植物性。



REPORT ポートランド再訪

Revisit Portland

視察から4年、思い立ったら決行！

小菅 曲実

今から4年前、私は「CRAFT BASE」をオープンするにあたり、ポートランドを視察しました。

ポートランドは、市民参加型や環境に配慮した独自の都市開発によって発展を見た街です。街中の空間は、パブリックやプライベート、そして仕事、遊び、食、学びなどの線引きが曖昧で、関わる人たちの使い方に応じて独自の空間(場)が生まれ続けています。このような空間は、街の中のいたる所に存在し、そこでは必ずと言っていいほどワークショップやライブが開催されています。

視察から4年経ち、「CRAFT BASE」に来てくださる方から「ポートランドの次はどこに行くの？うね」なんて声もちらほら聞くこともありまして……。

そこで、思い立ったが吉日。ポートランドへの再訪を決行しました。しかも今回は、特集記事で紹介した「高越さん」と一緒の訪問。

この紙面では、北欧(フィンランド)に行ったことがある高越さんとの旅をもとに、北欧とポートランドの違いなどをレポートいたします。

「高負担・高福祉」な北欧

北欧(フィンランド)の人々は、「こういう暮らしをするために、これくらいの収入は必要。」といった暮らしをトータルに捉え、どう働こうかを考えています。

「世界一幸せな国」と言われていますが税金が非常に高く、物価も高い事で有名です。しかし、税金が高くて、社会保障制度がとても充実している「高負担・高福祉」なので、文句を言う人はほとんどいません。

制度を一部挙げると、「小学校から大学院まで、学費はすべて無料」、「病院で高額な治療を受けても、出産してもすべて無料」。

育児保証、失業保証、様々な制度に、生まれてから亡くなるまで手厚く守られています。

特に福祉サービスや医療制度が充実しており、他国では、あまりありません。

居心地の良さは、接客にあり。

ポートランドでは、仕事を2〜3個掛け持ちしている人が多い為、お店で出迎えてくれるのは、オーナーさんでない事がしばしばあります。

しかし、そこで働いている人たちは、お店の趣旨・コンセプト・方針を汲み取って、自分がオーナーかのようにお店を回しています。それなのに、仕事だからと割り切っちゃっている感じが全くありません。

高越さんは「本当に楽しくて、この仕事をしているんだらうな」、「この街が好きで住んでいるんだらうな」と、どのお店に行っても感じたそうです。

また、お店と働いている人の人格の一致度が高く、楽しみながら自由に接客をしている感じ。

考えてみると、日本は機械的でマニュアル通りが良い接客と思われる部分があります。しかし、ポートランドは「接客に人間らしさを感じられとても居心地が良かった」と感じます。

ポートランドの居心地の良さは接客にあるのかもかもしれません。

REPORT

ポートランド再訪

似ている部分はあっても、基盤は違う。

ポートランドも北欧も、皆が自立して「これをやりたいからやる」という状況は同じです。しかし、この状況を生み出す背景が異なるのではないかと感じました。「政府の意思」が強く影響しているフィンランド。一方、「街の人達の意思」で動いているポートランド。両国にはそんな違いがあるのかもしれない。

ポートランドも北欧も、その居心地の良さは似ているものの、根底にある基盤の部分は違うのかもしれない。皆さんも機会があれば、訪問してみてください。

ポートランドとフィンランドの位置関係



CRAFT BASEよりマンツーマン相談のお知らせ

「CRAFT BASE」は、ものづくりのワークショップのみならず、地域の方々が交流を深められる、まちづくり的な活動の場でもあります。

よりよまちづくりを目指して、以下の活動も行なっていますので、お気軽にご連絡ください。

「マンツーマン相談」

- 「こんな悩み、一緒に解決します」
- 「CRAFT BASE」で、どんな事ができる場所？
- ワークショップって、どんな事をするの？ イベント開催を考えているけど、誰に相談したらいいかわからない。
- 「CRAFT BASE」の設備・定員人数が知りたい。
- ・・・など。

リモートでも相談受けたい！
まずはお問い合わせください。



ものづくり大学へ遠征。戸田ゼミでパネルセッション！

埼玉県行田市にある「ものづくり大学」は実地を重視したパワハラス的な大学で、たくさんの建築士や職人さんを輩出しています。2月4日、その大学で高越さんと一緒にパネルセッションを行いました！写真は戸田研究室の学生さんです。